



東京日野プロバスクラブ
創立平成22年9月16日

プロバスだより

2012～2013年度 会長・菊池昭雄 幹事・奥 修平
2012(平成24)年11月15日(木)・第24回例会 第2巻第05号(通算25号)

< 菊池昭雄会長テーマ >

自立の精神で、独自の奉仕活動を創造し取り組む
クラブ運営には、相互の理解を深め、協調を旨とする
例会は全会員が集う親睦の広場、参加の喜びを持ち、気楽に楽しく
他クラブとの交流で視野を広め、深化し続けるクラブを目指す

第25回理事会報告

日時 平成24年11月8日(木) 14時～16時
場所 日野市民会館・3階第1会議室



< 第23回例会 >

開会 例会委員会 中村代志子委員長

日時 : 平成24年11月15日(木) 12:30～14:30
会場 : 高幡不動尊 客殿2階

【出席報告】

会員総数34名 本日の出席者23名 出席率68%

会長挨拶 菊池 昭雄会長

11月半ば晩秋です。朝晩大変寒くなり風邪を引かない様にお気を付け下さい。

非政治的という規約がありますが、私はマスコミの仕事をしておりましたので、現在の政局の動きは大変興味があります。明日解散となりますが、嘗て徹夜で速報をしていた覚えがあります。昔のことがちょっと懐かしく感じました。

第5回全日本プロバス協議会の総会が一昨日11時から総会、13時から懇親会がANAクラウンプラザホテル神戸で開催されました。出席は私(菊池会長)、奥幹事、矢野副幹事、渋谷会員の4名です。感想を一言ずつお願いします。総会は平成16(2004)年大阪で第1回が開催されました。その後2年ごとに開催されています。

新幹線で往復しましたが、渋谷さんから「僕と並んで座って行きませんか」と云われ、「菊池さんのご高説を拝聴したい」、私は「とんでもない。むしろ私が渋谷さんらのご高説を拝聴したいので、一緒に並んで座るのは大変幸せです。」と云ってご一緒させて頂きました。中国のお話を伺わせて頂き、大変有意義でした。

渋谷さんは八王子PCと当クラブの両方会員になっておられ、八王子の会員としては15年のキャリアを持っておられます。総会には毎回出席をされているようです。今日は欠席されると伺いましたので、なにか感想をお願いしますと申し上げましたら、昨日FAXで「書簡」としていただき、読ませて頂きます。 ※「書簡」は省略させて頂きます。総会は2年後の開催は「横浜市」に決定致しました。6回目ではじめて関東圏の開催となります。皆様のご参加をよろしくお願い致します。

幹事報告

奥 修兵幹事

- ③クラブ交流会の基本ルールが決まりました。
 1. 他クラブ会員の卓話等の費用は原則負担しない。
 2. 上記の場合の食事代はクラブ負担とする。
 3. その他交通費等は自己負担で行う。
- ②クラブと同好会の関係について交流会の中で何って参りました。同好会については一切の制約、決めごとはなく、あくまでもフリーに活動するが、立ちあげの時は理事会の承認を得る事。
- ③ゴルフ同好会、旅行同好会、カメラ愛好会に、現在助成金として10,000円としておりますが、将来的に見直しもあります。
- ④例会で同好会で会員の募集、行事の募集などの報告がある場合は事前に例会委員長に申し出をお願いします。又、結果報告も行う様をお願い致します。
- ⑤東京多摩PCより忘年会開催の案内が届いております。

日時 12月5日(水) 17時～19時
会場 京王クラブ
会費 3,000円

○第5回全日本プロバス協議会感想

※奥 修兵幹事

矢野さんにセットして頂いた三の宮の魚屋が出してくれた魚はめっちゃめっちゃおいしい魚を出してくれて、灘の酒所で「山田錦」が非常に上手かったです。

※矢野凱弓副幹事

ケーブルカーで六甲に上り紅葉を見ました。他クラブの方たちは旅行クラブの皆さんで総会の前後に旅行計画を兼ねて参加されたようです。大阪のプロバスクラブは昼にワインを飲んでいるようです。我がクラブでも今年ではなくても、別に堅苦しい会ではないので良いのではないかと考えています。堺PBはオーストラリアのクラブと交流があり、何人かに訪問して頂いたと云う事です。108番目のクラブは淡路島PBで、堺PBも女性の方が多いです。皆さん会に入ってお若くなっているという云う事です。

委員会報告

○例会委員会 中村代志子委員長

先月八王子PCを訪問することになっていましたが、当日は移動例会のために参加できませんでした。12月に参加することになりました。

「ハッピーコイン」は次回までに報告できる様に進めております。

1月の新年会の会場を模索している状態です。決まり次第報告させていただきます。

○情報委員会 小西 弘純委員長

「プロバスだより」配付。今月より澤田副会長からのご提案で「ロータリーの友」は私の独断で良いと思われる記事をコピーして配付することになりました。ぜひ、お目通し下さい。

○会員委員会 鷺尾 昭夫委員長

前回例会終了後委員会を開催しました。「会員手帳」についてリニューアルする方向付けをしました。希望及び訂正事項がありましたら次回例会までにお申し出下さい。新会員のご推薦もよろしくお願い致します。

○研修委員会 瀬川 爾朗委員長

11月27日の「海洋研究開発機構見学」は19日が締切です。現在14名の登録があります。当日は意外と時間が掛かりますので十分に時間を取って遅れない様に「追浜」までお集まり下さい。

※11月29日信州旅行の件 小島 康義委員長
今日が締切です。参加者は各委員長がとりまとめて連絡をお願いします。

○地域奉仕委員会 渡辺 明 委員長

10月28日(日)「夢ふうせんバザー」には商品提供を頂きありがとうございました。あいにくの雨でしたが、10時過ぎくらいから来場者が増えてきました。いろいろ見させて頂き、パン、襟巻きなど買いものをさせて頂きました。

野外の催しはすべて中止になってしまいました。来年も開催されると思いますので、又ご協力をお願い致します。

先般、チャリティーの「サンマ」の件を、各委員長から会員に発信して頂きましたが、チャリティーと云う事もありますので、出来れば1匹100円をお願いしたいと思います。

○その他 澤田 研二副会長

被災地に東芝の備品をトラック14台位送り込んでおり、感謝の気持として「サンマ」を送りたいという申し出を頂きました。「産業まつり」等に話はしましたが、すでにプログラムがすべて決まってしまう今年は見送りとなりました。11月18日(日)に「子供まつり」の時に「サンマ」300匹を焼いて配ることになりました。しかし、500匹下さることになり、200匹を今回クラブ会員のチャリティーとなりました。500匹の協力金はすべて現地に送らせて頂きたいと思います。皆様のご協力をお願い致します。

プロバスクラブ賛歌

閉 会

澤田研二副会長

今「菊まつり」が行われていて、「あちこちで行われている「菊まつり」の中でも規模の大きい充実したものと思います。私も観光協会の役員で当番でおりました。テントにも品物が置いてありますが、日野の新しい名物として「バラガキ」を新発売しました。高幡まんじゅうの松盛堂の他にも色々売り出しております。この2種類はテントでも扱っております。

小島さんの卓話ありがとうございました。又、第二部としてご主人をお願いしたいと思います。

先日までは「暑いですね」が挨拶でしたが、大変に寒くなってきました。私はインフルエンザの予防注射をして以来、小さな病もなくなりました。風邪を引かないでクラブライフを楽しみたいと思います。

<今月の会報担当 新田委員>

メンバースピーチ

○テーマ「私のふるさと 函館」 小島 馨会員

私は、父の仕事の関係で1945年に中国で生まれました。終戦後、父は、仕事の都合上、先に帰国していき、母が自分で臍の緒を切ってお産し、乳飲み子の私を背負って日本へ引き上げてきたそうです。私の上に3人の子供がいたそうですが、いずれも伝染病や栄養失調で亡くしたと聞いております。

父の出身地は岩手県で、実家は神社の宮司でした。母方は青森で、二人とも函館で見合いにより結婚したと聞きました。

幼少の頃は、湯の川温泉がある湯の川小、中学校へと進みました。小学校の担任だった新卒の男性教師の潑刺さに憧れて、教師になりたいと思うようになり、中学では体育の先生になりたいと思っていました。当時からおてんば娘で、体を動かすことが大好きだったので、最初はバスケットボール部に入りましたが、部員が少なくすぐに廃部となり、中学1年の2学期から卓球部に入り直し、負けず嫌いだったので、当時宿直当番をしていた小学校時代の先生に夜間に教わって懸命に練習し、中学2年のとき函館で個人優勝し、団体優勝も果たしました。

その後、東高校へ進み、同じ卓球部だった主人と出

会いました。

吉岡龍徳さんの本を回覧しておりますが、吉岡先生は陸上短距離走でオリンピック出場をされた方で、当時、私の母校である東京女子体育大学の教授をされていて、函館の支部に学生募集に来ておられ、私の両親を説得していただき、高校3年の2学期には進学が決まりました。

大学を卒業後、故郷の湯の川中学校に赴任し、教職生活を経験いたしました。その後結婚し、東京に転居しましたが、体育の教職員募集が無い年度でしたので知人の紹介で、濱坂電気に事務職で就職し、35年間勤めさせていただきました。

私が47歳のとき、私の弟とその連れ合いが4歳の男の子と1歳の女の子を残して事故で急死いたしました。子供がいなかった私たちの養子として引き取り育てております。下の子が今年20歳となり、感慨深いものがあります。

主人が今年定年退職となって、この夏故郷の函館へ2週間帰郷してまいりました。函館の隅々まで見て周り、あらためて、いいところだなあと実感しているところです。皆様も機会がありましたら、是非訪れてみて下さい。

このプロバスクラブでは、人生経験豊富な先輩諸氏の貴重な経験談などが聞けて、私にとって、気付きを与えてくれる場所でもあります。今後ともよろしくお願い致します。

<卓話・記 大島委員>

編集・発行 情報委員会

小西弘純・林 良健・安孫子秀子・大島芳幸・新田 進・小林昭治